

# 第10回 大分市バリアフリー基本構想推進協議会

## 次 第

日時：平成31年2月14日(木) 10:00～

場所：大分市保健所 6F 大会議室

### 1. 開 会

事務局 挨拶

### 2. 第10回 大分市バリアフリー基本構想推進協議会

#### ○議 事

1. 平成30年度の取組状況
  - 特定事業計画の進捗状況 [資料1]
  - 関連事業計画の進捗状況 [資料2]
  - 生活関連施設での取組状況 [資料3]
  - 心のバリアフリーの取組状況 [資料4]
2. 第9回協議会における意見について [資料5]
3. バリアフリーに関する要望について [資料6]
4. バリアフリー基本構想の改定について [資料7]
5. 今後のスケジュールについて [資料8]
6. 意見交換

## 第10回 大分市バリアフリー基本構想推進協議会の結果（意見要約）

- 事業者と当事者のそれぞれの主張がある中で、結果的にどこでお互いに折り合っていくか、そしてお互いが物分り良いようなことを言うことになりましたが、そうじゃなくて折り合えるところは折り合って、市民が安全に安心して暮らせる社会をどうすれば構築できるのかという視点に立って考えていきたいなと思っています。
- 大分市の取り組みはかなり熱心に進めているので誇らしいと思っている。大分市の取り組みを広めていただければと思います。
- 改定において、叩き台があるとマイナーチェンジになってしまいがちなので、より実効的に進むような改定案を作っていただきたいと思う。
- 5年前に策定するときは生活関連施設として位置づけることにご協力いただけなかったところもありました。中でも宿泊施設や医療施設など、主要なもので対象になっていないものがあります。時間が経って各施設管理者にご協力を募って、本基本構想が策定されてから数年間で変わったこのマップを変更するなど、取り組みを広げる方向で取り組んでほしい。
- 心のバリアフリーについて、施策を行われる時に障害者の人の声を反映しているつもりだが、実際には使いにくいものとなってしまうことがある。バリアフリーに関する研修の中で、障害を持つ当事者についての理解を学べる内容にすると、もっと理解が深まるのではないかと思う。
- 車椅子体験会とか視覚障害者のエスコートはどうするのかなどの講習をするのであれば、健常者のみで行わず、視覚障がい者や車椅子使用者にご足労願って、協力してもらったほうが健常者の方に分かりやすいのではないかと思う。我々としても声をかけていただければ協力させていただきたいと思っています。
- スマートサポートステーションに関して、JR と関係団体で意見交換をして、すぐに対応できるものは対応しているが、聴覚障がい者にとっては全部対応できてはいないと思う。聴覚障がい者はほとんど文章を読めない方がたくさんいらっしゃるのでもモニターを使っても通じないことがあります。なので、駅において遠隔手話サービスを希望している聴覚障がい者が多いです。

- 要望にすぐに対応できない場合であってもある程度の工夫をして頂く必要があると思う。例えば、和式から洋式に変えてほしいという要望がありますが、和式・洋式それぞれに誘導するサインがあるところもある。しかし、サインとして張り紙だらけにならないようにする配慮も必要であると思います。すぐには対応できない場合は対応できる範囲で進めることは重要であると改めて思います。
- 国土交通省の方で昨年、「心と社会のバリアフリーハンドブック」を作成しました。これは中学生向けの教材となっております。その他のバリアフリー関係のパンフレットを作成していますので機会があればご覧ください。

( 閉会時間 11時45分 )

